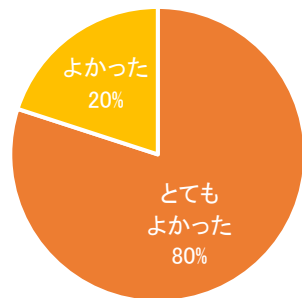
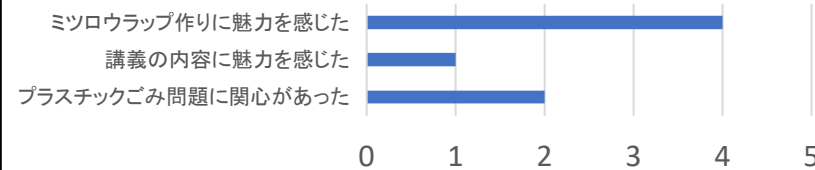




講座の総合的満足度

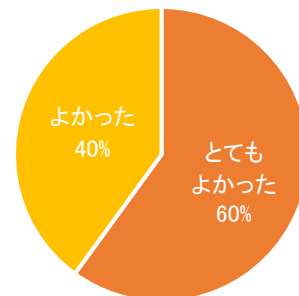


参加のきっかけ(複数回答可)



第1部について

- ・改めて、プラスチックごみについて考えるきっかけになりました。
- ・プラスチックは長年分解しないことがわかった。
- ・写真がついていてわかりやすかった。



第2部について

- ・ミツロウラップに興味があったので、とても勉強になった。使いたいと思う。
- ・しっかりとしたラップができてよかった。
- ・わかりやすい説明で作りやすかった。
- ・形がかえられるのがびっくりしました。
- ・家でもミツロウラップを作ろうと思った。
- ・家に帰ったらもっと大きなミツロウラップを作りたいと思いました。



ごみゼロカフェサポーターになりませんか？

サポーターの詳細はこちら▼



“ごみゼロカフェ”は、施設見学や講師からのお話を通して、ごみの減量化・資源化について考えるイベントです。カフェのようにくつろぎながら意見交換し、ごみの減量化のアイデア出しをしていきます。“ごみゼロカフェ”では、ワークショップの進行や受付等運営のお手伝いをしてくださる“ごみゼロカフェサポーター”を募集しています。

川崎市ごみゼロカフェ

検索

第2回 ごみゼロカフェ開催報告

ごみゼロカフェ NEWS

脱プラスチック

親子で楽しく / ミツロウラップを作ろう！

第2回ごみゼロカフェでは、脱プラスチックをテーマに、「どうしてプラスチックが問題になっているの？」「プラスチックごみを減らすためにできることってなんだろう？」を講義形式で一緒に考え、繰り返し使用できるオリジナル“ミツロウ(蜜蝋)ラップ”を作りました。最後は、今日からできる具体的に素晴らしい「ごみゼロ宣言！」を発表していただきました。



講師 北條 千夏
プラスチックフリー生活アドバイザー



第2部
ワークショップ



第3部
ワーク

第2回 ごみゼロカフェ 開催概要



開催日時	2024年11月24日(日) 10:00~11:40
開催場所	中原市民館(実習室)
参加者	10名(親子5組)
内容	脱プラスチックをテーマに、講義・ワークショップ・ワークの3部構成で開催しました。小学校1年生から6年生のお子さんとその保護者の方にご参加いただきました。

第1部

「どうしてごみを減らさなきゃいけないの？」を考えよう！

第1部では、毎日使っている身近にあるものが土にかえるまでの時間、捨てられてしまったプラスチックが小さなマイクロプラスチックになって私たちの健康や海の環境に大きな影響を与えることを学びました。「土にかえるまでにこんなに長い時間がかかるんだ！」と驚きがたくさんありました。毎日の生活でどんな工夫をしたらプラスチックごみを減らせるかもみんなで考えました。



ペットボトルが土にかえるまで何年？



講義内容

- ・どうしてプラスチックが問題になっているの？
- ・紙コップ、ノート、ペットボトル、おもちゃが土にかえるまで何年？
- ・プラスチックのごみのゆくえ
- ・私たちにできることってなんだろう？

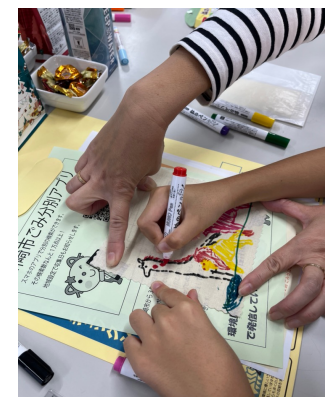


第2部

親子で楽しく／ミツロウラップを作ろう！

第2部では、繰り返し何度も使える食品用のラップ“ミツロウラップ”をつくりました。無地のオーガニックコットンに、布用のペンを使って、それぞれ好きな文字や絵を描き自分だけのオリジナルのラップが完成しました。

みんなの作品



布ペンを使って思い思いの絵を描いていきます。



布の上にミツロウを乗せていきます。



アイロンの熱でミツロウが溶けたら、あっという間に出来上がり！！

第3部

今日からできることってなんだろう？／ごみゼロ宣言！



第3部では、「家庭から出るごみを減らすためにできる工夫」について考えてもらい、「ごみゼロ宣言!」としてお一人ずつ発表してもらいました。

- ・スーパーの肉や魚はプラスチックの容器やラップを使っているので、
- ・時間があるときはお肉屋さん、お魚屋さんで買い物をしたい
- ・使いきれないものは買わない
- ・冷蔵庫内の食品ロス0！！！！
- ・使い捨てのものではなく、何度もつかえるものを使う
- ・パパ(かぞく)などと買い物する時、マイバックをつかう！
- ・なるべくプラスチック製品を家の中に持ち込まない！
- ・リサイクルできるものはなるべくリサイクルする
- ・買い物をする時に、本当に必要かどうか環境に優しいかどうか考える
- ・ごみをへらすためにかつどうをしよう！
- ・なるべく会社に自家製弁当を持って行く

